

平成 23 年 6 月 1 日

福島大学災害復興研究所・行政政策学類 主催

緊急企画〔入場無料・申込み不要〕

学習会：「福島における放射能除染のあり方について」

日時：6月3日（金） 16時30分～18時

場所：福島大学（福島市金谷川1番地） M-1教室

講師：田中俊一先生（NPO 法人放射線安全フォーラム副理事長）

私たちにとって現在の最大の関心事は、放射能で汚染されたこの福島の地でこれからどのように生活していくか、ということではないでしょうか。

福島市では、計画的避難区域に指定された飯舘村のように年間 20m Svには達しないものの、一般公衆の年間被ばく限量 1m Svを大きく上回る高い放射線量が計測されており、今後の健康被害の発生が懸念されています。

ようやく福島では、学校のグラウンドの汚染土壌の除去作業が始まり、子どもが受ける年間放射線量 1m Sv以下を目指すという方針が打ち出されましたが、放射性物質は、家庭、学校、公園等に広範囲に拡散しており、どのようにして除染を進めていくかが大きな課題になっています。

福島大学災害復興研究所と行政政策学類では、この問題についての学習会を開催することを緊急企画しました。講師にお招きするのは、わが国の原子力研究の第一人者である田中俊一先生です。田中先生は、震災後の3月31日には、他の専門家15名とともに、「福島原発事故についての緊急提言」を出されました。また、飯舘村や川俣町を訪問・調査して、放射性物質の除去実験を行い、提言をされています。

今回の学習会では、田中先生に、放射能除染の基本的な考え方や除染の具体的方法についてお話をいただき、この問題に対する私たちの理解を深め、除染の活動に取り組んでいきたいと考えています。

入場無料・申込み不要ですので、ふるってご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

問合せ先：福島大学行政政策学類学類支援室（電話 024 548 8253）